

科目・コース（ユニット）名： テュートリアル 1
英語名称： PBL tutorial 1

【担当責任者】 亀岡弥生（総合科学教育研究センター）

【連絡先】 igakukyo@fmu.ac.jp

【開講年次】 1 年, 【学期】 前期, 【必修／選択】 必修,

【授業形態】 演習

【概要】世の中には、過去の経験や既存の知識に当てはめるだけでは解決できない問題に溢れています。医療現場でも、多職種から成るチームで、現状を打開するために必要な情報を自ら探し、それを自分の頭で咀嚼し、説明し、討論し、結論を出していきます。

「PBL(problem-based learning) テュートリアル」とは、学習者自身が事例から課題を発見し、少人数の学習者から成るグループ討論によりその課題の解決を図る能動的学習方法です。卒業するまでに PBL テュートリアルの授業を何度か経験しますが、この科目では、医師のプロフェッショナリズム、社会問題、医学情報を題材として、PBL テュートリアルの基盤となる「疑問を持つ」、「説明する」、「討論する」を実践して、その意義を理解し、能動的学習態度を身に着けます。

【学習目標】

1. 一つの事象を多様な視点から考えることが、何故重要なのか説明できる
2. 様々な情報に対して自分なりの疑問を持つことができる
3. 自分の意思で問題解決のための学習を計画・実行できる
4. 自分の考えを自分のことばで論理的かつわかりやすく伝えることができる
5. 自他の考えを尊重しながら、同僚と協働して結論を出すことができる
6. 質問する意義及び有益な質問について、自分の考えを言語化することができる

【教科書】 指定しない。

【参考書】 指定しない。

【成績評価方法】

原則として全ての授業への出席が必須です。単位認定には、履修規定より、3 分の 2 以上の出席が必要です。成績は①～③を総合的に評価する。

- ① 授業出席
- ② 学習ポートフォリオ ※
- ③ 課題の提出状況

※ポートフォリオには、課題に対する自分の回答、グループワークへの取り組み、授業による気づき等、学習の軌跡を記録します。

【学習上の注意事項】授業は1 2号館3階の化学微生物免疫学実習室で行います。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2026/5/13	水	4	(GW)「大学で学ぶということ」	亀岡弥生 安井清孝
2	2026/5/13	水	5-6	(GW)「必ず疑問を持とう」	
3	2026/5/20	水	4-5	(GW)「自分の言葉で考えを伝えよう」	
4	2026/5/27	水	4-5	(GW)「質問を考えながら聞こう」 「考えを論理的に伝えよう」	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
亀岡弥生	教授	総合科学教育研究センター
安井清孝	助教	医療人育成・支援センター

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する